

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			勉強(学習)部屋、運動部屋、クールダウン部屋等スペースを分けており、個別プログラムに集中できるように努めている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			各スペースに職員が配置できており、専門性の高いスタッフが指導できる状況。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			共生多機能型デイサービスを提供しているため、バリアフリーになっている。二階にはエレベーターでの移動も可能。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		定期的にミーティングを行い、問題点等の改善に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者のアンケートを参考に「いいえ」もしくは意見のあった内容を協議し、質の向上に向けて取り組んでいる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価の実施予定はない。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		コロナの影響もあり、ほとんど行えていないが、オンライン研修会には参加している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			担当者だけで作成するのではなく、スタッフ間で協議する時間を設けたうえで、作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		WISC-IV等の検査を行った児童については、参考にしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			定期的にミーティングを行い、月ごとの活動を協議して決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			児童の状況、安全性を重視しつつ、色々なことにチャレンジできるように、案を出し合っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			定期的にミーティングを行い、平日、休日、長期休暇を分けてプログラムを作成し支援を提供している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントを基に状況に応じた課題分析を行い、作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			急な利用や休みなど人数変更や共有事項もあるため支援前に必ず確認している。当日のプログラムも確認している。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		当日行えない場合は、翌日に時間を設けて行っている。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録を取り、改善点はスタッフ間で共有し、次回の支援へつなげている。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に計画やモニタリングを行っており、見直しをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインを意識して支援を提供している。定期的に確認しながら支援している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者、児発管若しくは児童指導員が参加している。会議後に職員間で共有している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		送迎時など先生と情報交換を行い、学校での様子を確認している。急な状況にも対応できる体制を整えている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		看護師は常駐しており、医療連携も行える環境化ではあるが、重心の児童の受け入れは現在行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			積極的に連携を行なっている。就学時は児童や保護者の不安も大きくなるため情報の共有は大事にしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			保護者の不安がないように相談支援との情報共有に努めている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		受講できる研修には参加している。特にオンライン研修には積極的に受講している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	あいさつ程度はあるが、関わりが少ない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			西区子ども部会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			密に連絡を取るよう努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	相談があった際は、アドバイスをを行なっているが、ペアレントトレーニングなどの個別支援は行っていない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の際になるべく詳しく伝えている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		コロナ禍により面談等を行えなかったことはあるが、LINE・電話等で気軽に相談を受けられるよう努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在、行うことが出来ていない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合は、迅速かつ丁寧に対応させていただいている。上司にも報告して改善すべき点は修正を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、行事予定表を渡しており、日々の様子もLINEやSNSを活用して情報発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に関する内容は契約時に説明している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			一人一人の特性に合わせて、コミュニケーションを取るよう努めている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今年には行っていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルにて職員に周知している。感染委員会からの指導伝達をおこなっている。BCPの策定も計画中。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			企業でBCP策定を計画している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			基幹主催の虐待研修や子ども部会による研修に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	現在、身体拘束が必要な利用者がいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	保護者から直接確認を受けているが、指示書の確認はできていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			報告書を作成し、スタッフ間で共有している。